

報道機関 各位

北九州地域が小説の舞台として登場する 清張作品のコーナーを開設します！！

松本清張は自らの小説作法について、「たとえ筋は空想であっても、小説には現実がなければならない」（「私の小説作法」）と述べました。小説のディテールを書くために、ひとに会ったり、土地を訪れたり、なるべく取材する、と言います。

小説のリアリティを大切にされた清張にとって、およそ40年の前半生を過ごし、土地勘のある北九州地域は小説の舞台の宝庫でした。芥川賞を受賞した「或る『小倉日記』伝」から晩年の「両像・森鷗外」まで、多くの作品で北九州地域の印象的な風景を記しています。

そこで、「**もっと感動ミュージアムAction!**」の取り組みの一つとして、北九州地域が登場する清張作品を文章でたどり、作品の背景やそれらの舞台がどのような変化を遂げているかを紹介する「北九州地域清張作品コーナー」を常設展示室内に開設いたします。

開設日 令和7年8月29日（金） 9：30～

会場 松本清張記念館1F 常設展示室内

観覧料 常設展示観覧料に含む
常設展示観覧料：一般 600円（団体・高齢者割引（※）：480円）
中・高生 360円（団体：280円）
小学生 240円（団体：190円）
※団体は30名以上

- 構成**
- 1 北九州地域（北九州市、芦屋町、水巻町、遠賀町、岡垣町、中間市、苅田町、行橋市、みやこ町）を舞台とする清張作品コーナー
・「黒地の絵」、「時間の習俗」等
 - 2 自伝的作品コーナー
・「半生の記」、「骨壺の風景」等
 - 3 森鷗外関連作品コーナー
・「或る『小倉日記』伝」「両像・森鷗外」等

【問い合わせ】
北九州市立松本清張記念館
（担当）久富、稲田
Tel 093-582-2761 Fax 093-562-2303

